

令和6年4月11日

保護者 各位

茨城県立石岡第二高等学校長 鈴木 教生

「ラーケーション ～体験活動推進日～」の実施について（お知らせ）

これからの社会では、自己の在り方生き方を考えながら、課題を発見し解決していくことができる力が求められています。そのような力を身に付けるためには、地域に出かけたり、多くの人と出会ったりする体験活動を通して学んでいくことが有効です。

茨城県では、生徒がそのような時間を取ることができるよう、年間最大5日間の「体験活動推進日」を設定しました。

本校では、地域に貢献できる人材を育成するため及び将来の進路決定に役立てられるよう、総合的な探究の時間等を活用し、フィールドワークやインターンシップ等の行事を行っておりますが、本校での各教科の学びや総合的な探究の時間で体験したことを、より追究し将来に役立てられるよう、裏面の実施要項のとおり「ラーケーション ～体験活動推進日～」の機会を活用できることといたします。

活用を希望する場合は、実施要項に従い、別紙の申請書及び計画書の提出、実施後は報告書の提出をお願いいたします。

| |
|--|
| 問い合わせ先 石岡第二高等学校 TEL 0299-23-2101 |
|--|

令和6年4月11日
石岡第二高等学校

「ラーケーション ～体験活動推進日～」実施要項

- 1 目的 様々な体験学習を経験することで、本校での学びを追究し、基礎的・基本的な学力と豊かな人間性を育み、進路希望の実現と地域に貢献できる人材の育成を図る。
- 2 活用日 年間5日間
次の期間は除く
ア 各種テスト1週間前からテスト終了後1週間
※業者テストの場合は1週間前のみ
イ 成績不振、提出物の未提出等により、補習等を行う日
ウ 紫鏡祭、探究活動発表会など文化的行事の1週間前から終了後
エ 4月（年度始め）
オ 1年生は夏休み前まで
- 3 申請方法 実施日の1週間前までに下の必要書類を担任に提出する。
ア 申請書（様式1）※保護者押印
イ 計画書（様式2）
- 4 活用中の出欠 出席停止として扱い、欠席としない。
- 5 活用中の学びの保障 活用中の学習内容については、各担当教科が補習又は課題の提出等により学習の保障を行う。生徒は各教科担当の指示に従うこと。
- 6 実施後 報告書（様式3）を提出する。
※報告書の提出をもって、出席停止扱いを認める。
- 7 活動中の保険 実施前に各家庭で個別に保険に加入をお願いいたします。
学校の管理下の活動でないため、学校で申し込んでいる保険の適用にはなりませんのでご注意ください。
- 8 保護者へのお願い
ア 申請前に「何を体験し、その体験を通して何を学びたいのか」「将来にどのように活かしていきたいのか」、よく考えて計画を立ててください。
イ 体験活動場所等への申し込みや交渉が必要な場合は保護者の責任でお願いいたします。
ウ 各書類を学校へ提出する前に必ず、生徒と一緒に確認をお願いいたします。

| 校長 | 教頭 | 事務長 | 教務主任 | 学年主任 | 担任 |
|----|----|-----|------|------|----|
| | | | | | |

様式1

ラーケーション～体験活動推進日～ 申 請 書

学年 組 番

生徒氏名

上の者について、次の理由により体験活動を行いますので申請いたします。

申請理由

| |
|--|
| |
|--|

体験活動日（期間）令和 年 月 日（ ）
～ 令和 年 月 日（ ）

体験活動場所（名称・住所・連絡先・担当者）

名称

住所・連絡先

担当者（いる場合のみ）

保護者の参加 有・無 ○をつける

保険の加入 有・無 ○をつける

他の参加者

保護者氏名印

印

令和 年 月 日

茨城県立石岡第二高等学校長 鈴木 教生 殿

様式2 ※申請書に添えて担任に提出

ラーケーション～体験活動推進日～

計画書

年 組 番 氏名 _____

1 提出日 令和 年 月 日

2 体験活動日（期間） 令和 年 月 日（ ）
～ 令和 年 月 日（ ）

3 体験活動場所等

名称 _____

所在地 _____

電話番号 _____

担当者（いる場合） _____

4 体験をしたい理由や目的、体験を通して学びたい内容 具体的に記入

5 体験活動の日程（1日の流れ）